

自宅など職場以外で働くテレワークの活用に積極的な企業を表彰する総務省の「テレワーク先駆者百選」。岡山市のWORK SMILE LABO（ワークスマイルラボ）は中小ならではの取り組みが評価され、日本ユニシスや三井住友海上火災保険などとともに特に優れた企業を表彰する2018年度の「総務大臣賞」に選ばれた。どのような施策が評価の対象となったのか、石井聖博社長に聞いた。

—9月13日に社名を石井事務機センターから変更したばかりです。

「当社の創業は1911（明治44）年。筆や墨

在宅ワーク ICTで

先駆で受賞 ワークスマイルラボ

石井社長に聞く



いしい・まさひろ 1979年岡山市生まれ。帝京大経済学部卒。キャンノンマーケティングジャパンを経て、2006年石井事務機センター入社。15年から社長。16年に本社をライブオフィス化、笑顔で働く「ワークスマ」事業開始。

中小働き方改革モデルに

を売る文具店だった。時 代の流れとともにOA機 器やオフィス家具を販売 する地域の事務機屋とな り、私はキャンノン販売（現 キヤノンマーケティング ジャパン）から06年に戻 ってきた。リーマン・シ

提案業』を目指そうとい うものだ。本社オフィス をワークスマイルラボと 名付けており、誰もが笑 顔で働ける企業づくりを サポートしていく」

「小さい子どものいる パート社員は、子どもが 熱を出したら保育園に迎 えに行ったり休んだりで 仕事を中断せざるを得な かった。中小企業は人数 も少ないので、代わりは いない。休まれる側に負 担がかかり、本人は申し 訳ないと思う悪循環。実 際に退社した人もいた。 自宅で職場と同じように 仕事が出来れば解決でき ると考え、『在宅ワーク』

「3つの課題が浮かび 上がった。労務管理とコ ミュニケーション、セキ ユリティだ。ICT（情 報通信技術）ツールをフ ル活用する。既存の様々 なソフトを組み合わせる が、3つの課題をクリア し低コストでITリテラ シーが低い人でも使える 仕組みを作らなくてはな らない」

「新しい機器やソフト は次々に登場する。まず トオフィスも開設した。 地方の中小企業の働き方 改革のモデルを創ってい きたい」

「テレワークの導入は 大企業で進んでいるが、 中小企業にこそ重要なツ ールだ。採用にも効果が ある。求人票に『在宅勤 務可』とあるだけで、応募者数は急増した。当社 は評価制度も変え、それ も公開している。岡山駅 前には共有型のサテライ トオフィスも開設した。

「聞き手は 岡山支局長 上野正芳」

支局

岡福広 山山島
00882-244-1155
0884-2932-3345
086-225-2071

山松鳥 取
00857-222-2465
0852-221-2198
083-922-1167

中

国